

|  |   |
|--|---|
| <p>[氏名] 関口 和一 (埼玉県出身、1959 年生まれ)</p>  |  |
| <p>[現職] 日本経済新聞社編集委員 東京大学大学院客員教授<br/>法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科客員教授<br/>国際大学グローバルコミュニケーションセンター客員教授<br/>早稲田大学非常勤講師、明治大学非常勤講師</p>   |   |
| <p>[学生へのメッセージ]</p> <p>本講義は第一線で活動する国際経済ジャーナリストが情報通信技術 (ICT) やベンチャービジネスの最新動向などについて対話型の授業を行います。学生によるプレゼンテーションを重視し、講義に対する参加姿勢や発言内容などを評価対象とします。講義以外にも交流会を通じ、学生同士が相互啓発する時間を設けます。</p>   |   |
| <p>[専門分野] 情報通信技術 (ICT)、企業経営、ベンチャービジネス、知的財産、日米関係</p>  |   |
| <p>[担当科目] 情報・通信イノベーション</p>   |   |
| <p>[主な経歴] 1982 年日本経済新聞社入社、編集局流通経済部配属。1988-89 年ハーバード大学国際問題研究所フルブライト客員研究員。1989 年英文日経キャップ。1990-94 年ワシントン特派員。1994 年産業部電機キャップ。1995 年サイバースペース革命企画キャップ。1996 年から産業部編集委員。1997 年から日経サテライトニュース(現日経 CNBC)キャスター、早稲田大学非常勤講師。1998 年から明治大学非常勤講師。2000 年から15年間、論説委員として情報通信分野の社説を執筆。2006 年から法政大学大学院客員教授、2008 年から国際大学グローバルコミュニケーションセンター客員教授。2015 年から東京大学大学院客員教授。2009-12 年 NHK 国際放送「Nikkei Japan Report」コメンテーター。2012-13 年 BS Japan「NIKKEI xBS LIVE 7PM」メインキャスター。</p>  |   |
| <p>[主な研究業績/社会的活動]</p> <p>1988-89 年米ハーバード大学でフルブライト研究員として知的財産権問題を調査研究。1989-90 年「Japan Economic Journal」マクロ経済キャップとして政治・経済・産業分野の日本の情報を海外に発信。1990-94 年日本経済新聞社ワシントン特派員として日米の通商問題、米国の独禁・運輸・通信・エネルギー政策などを取材。1995 年「サイバースペース革命」企画キャップとしてインターネット技術の最新動向を取材。1998 年「世界情報通信サミット(現世界 ICT サミット)」の設立に関わり、今日まで企画及びモデレーターを務める。1999 年「世界経営者会議」の設立に関わり、今日まで企画及びモデレーターを務める。2009 年から3年間、NHK 英語国際放送で日本の経済情報の海外発信にも努めた。</p> <p>以下の公的活動にも携わる。1997 年郵政省国際戦略問題研究会委員、科学技術庁科学技術戦略検討会委員。1998 年通産省産業構造審議会知的財産政策部会委員、通産省超先端電子技術開発促進事業評価委員会委員。1999 年文化庁著作権審議会専門委員。2002 年国交省 ITS 基本戦略検討会委員、総務省 IT 化戦略研究会委員、経産省情報家電ブロードバンド IT 戦略研究会委員、社会経済生産性本部情報化推進国民会議委員(現)。2003 年総務省分権化社会地方行政組織運営刷新研究会委員、総務省携帯電話ナンバーポータビリティ研究会委員、経産省スピノフ研究会委員。2004 年総務省携帯電話周波数有効活用検討会委員、総務省電子政府・自治体有識者懇談会委員、総務省全国均衡ブロードバンド基盤整備研究会委員、情報セキュリティ大学院大学アドバイザーボード委員(現)。2005 年内閣情報セキュリティ文化専門委員会委員、情報セキュリティ文化省審査委員。2006 年経産省情報セキュリティ基本問題委員会委員。2007 年総務省</p> |   |

ICT 国際競争力会議専門委員、経済産業省コンピュータセキュリティ早期警戒体制整備(現 JPCERT/CC)事業評価委員会委員(現)、CEATEC アワード審査委員(現)。2009 年総務省 ICT 政策タスクフォース委員。2009 年国立国会図書館納本制度審議会委員。2010 年文部科学省学校教育情報化懇談会委員、文科省 HPCI 計画推進委員会委員(現)、産業技術総合研究所(AIST)運営諮問委員会委員(現)。2011 年総務省情報通信審議会研究開発戦略委員会構成員、経産省産業構造審議会情報経済分科会委員、警察庁総合セキュリティ対策会議委員、情報通信研究機構(NICT)運営諮問委員会委員(現)。2012 年経産省情報セキュリティ技術評価委員会委員、2014 年総務省電波政策ビジョン懇談会構成員、大学基準協会経営系専門職大学院認証評価委員会委員(現)。2015 年内閣府総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)AIP 評価検討会委員(現)。2016 年内閣府総合科学技術・イノベーション会議(CSTI)AIP 評価専門調査会委員(現)。

著書に「パソコン革命の旗手たち」(2000 年日本経済新聞社)、「情報探索術」(2006 年同)、共著に「日本の未来について話そう」(2011 年小学館)、「Reimagining Japan」(2011 年 VIZ Media)、「未来を創る情報通信政策」(2010 年 NTT 出版)、「達人に学ぶ『知的生産の技術』」(2010 年 NTT 出版)、「モダンタイムス 2001」(1998 年日経 BP 社)、「著作権の基礎知識」(1984 年宣伝会議)、「FC ビジネス成長の条件」(1987 年日本経済新聞社)、「サイバースペース革命」(1996 年同)、「サイバービジネス最前線」(1997 年同)。論文に「Intellectual Property Trade in US-Japan Relations」(1989 年 Harvard Univ.)などがある。

[所属学会・団体]

日本記者クラブ会員、日本外国特派員協会会員、日本ペンクラブ会員、グローバルビジネス学会理事、ものこと双発学会理事、ビジネスモデル学会発起人、NPO法人ブロードバンド・アソシエーション顧問、日本の少子化を救う会顧問

[資格・表彰]アマチュア無線技師、読売新聞社主催「日米学生論文コンクール」第1回最優秀賞